

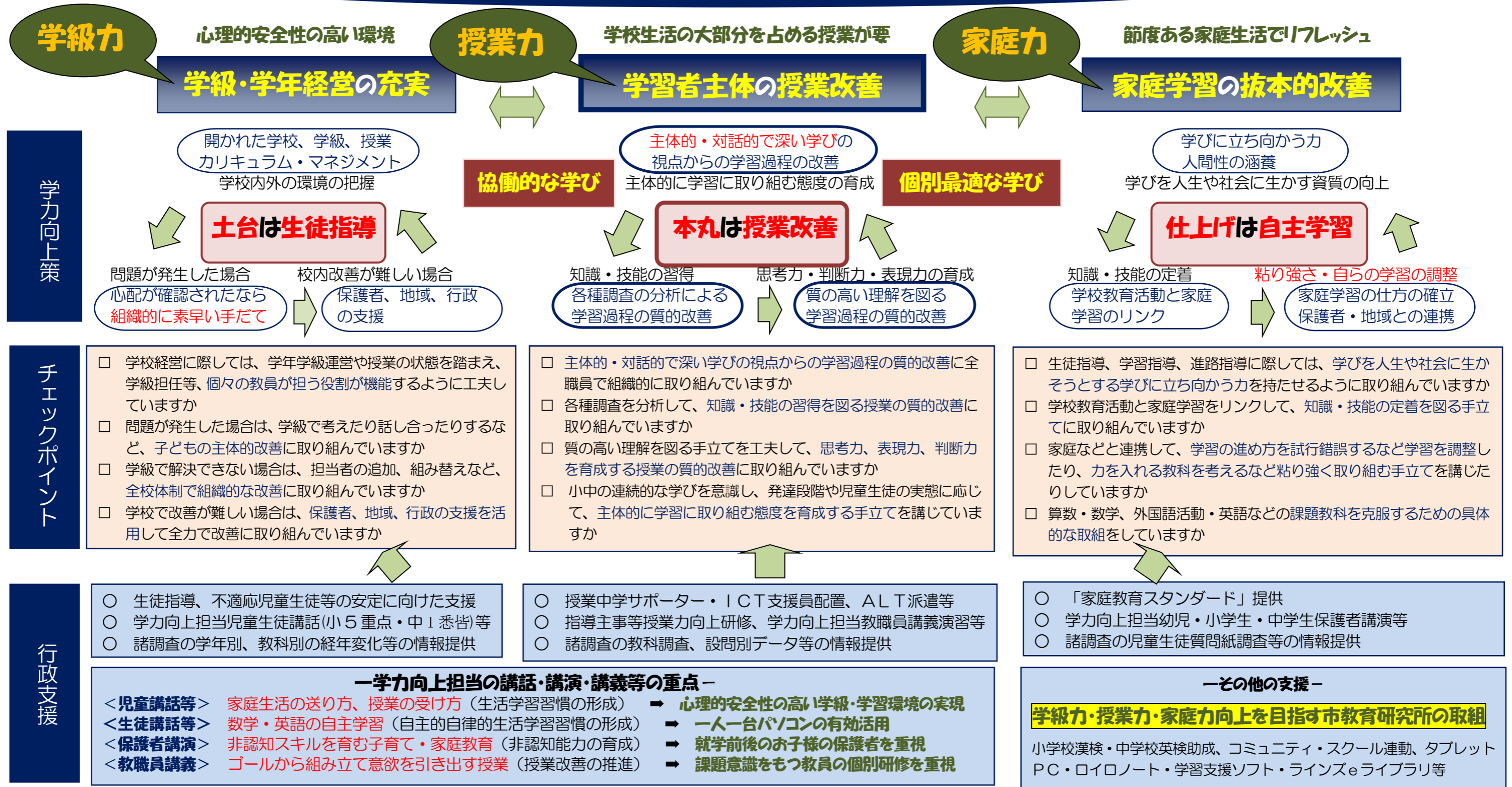
# 令和8年度花巻市学力向上アクションプラン

令和8年4月1日 花巻市教育委員会学校教育課

児童生徒の学力保障は学校の責務、取組の中核は日々の学級づくり、授業づくり、家庭との連携

花巻市の児童生徒が主体的・対話的で深い学びができるように、学校、教職員は個別最適な学びと協働的な学びを位置付けた授業改善に取り組むようお願いします。

【社会に開かれた教育課程 ⇔ 各学校におけるカリキュラム・マネジメント】



# 令和8年度花巻市家庭教育スタンダード

令和8年4月1日 花巻市教育委員会学校教育課

幼少期から育まれる非認知スキルの不足が学力低迷の要因の一つになっていると推測、家庭や地域の支援が必要  
 花巻市の子どもたちが、**学びを人生や社会に生かす資質・能力**として身に付けられるように、**家庭、地域、学校一体の取組**をお願いします。

項目 発達段階	小学校1・2年生	小学校3・4年生	小学校5・6年生	中学生	高校生	
●安全性● <b>自他の命を守る力</b>	【子育ての目標】 生命の尊さを教え、安全に生きる術を養うことにより、 <b>自他の命を守る力</b> を育みましょう					
	<input type="checkbox"/> 信号を守る <input type="checkbox"/> 横断歩道を渡る	<input type="checkbox"/> 左右確認と後方確認をする <input type="checkbox"/> 自転車の乗り方の決まりを守る		<input type="checkbox"/> 相手の立場も考えて、交通ルールやマナーを守る	<input type="checkbox"/> 身の回りに潜む危険を予測して、自分の命は自分で守る	
	<input type="checkbox"/> 道路への急な飛び出し、道路のななめ横断は止め、交通安全に気を付ける					
●自律性● <b>善悪を判断し我慢する力</b>	【子育ての目標】 集団の規律や規則を守り、集団の一員としての言動を育むことにより、 <b>自ら善悪を判断できる力</b> を育みましょう					
	<input type="checkbox"/> 家の人に進んで元気にあいさつする <input type="checkbox"/> 夜9時に寝る	<input type="checkbox"/> 近所の人に進んで元気にあいさつする <input type="checkbox"/> 夜9時半に寝る	<input type="checkbox"/> 地域の人に進んで元気にあいさつする <input type="checkbox"/> 夜10時に寝る	<input type="checkbox"/> 相手、時、場に応じてあいさつし、友達や他人の気持ちを考えて受け答えをする <input type="checkbox"/> 自分で考えて睡眠時間を確保し、健康管理に気を配る		
	<input type="checkbox"/> 早寝、早起き、朝ごはんの生活リズムをつくる <input type="checkbox"/> 夜9時以降はネット、ゲームをしない	<input type="checkbox"/> 相手を傷つける言葉や乱暴な言葉は使わない <input type="checkbox"/> 家でネット、ゲームのルールを決める	<input type="checkbox"/> 清潔を心がけ身だしなみを整える <input type="checkbox"/> ルールを守れなかったときの約束も決める			
●自主性● <b>粘り強く頑張る力</b>	【子育ての目標】 成功を認め失敗を励まし、粘り強く取り組み達成感を味わう経験を積み重ねることにより、 <b>自己有用感や自己有能感</b> を育みましょう					
	<input type="checkbox"/> 朝は自分で起き身支度する <input type="checkbox"/> 簡単な家のお手伝いをする	<input type="checkbox"/> 寝る前に明日の準備をする <input type="checkbox"/> 責任を持ち家のお手伝いをする	<input type="checkbox"/> 自分のものは自分で用意する <input type="checkbox"/> 進んで家のお手伝いをする	<input type="checkbox"/> 自分のことは自分で自己管理する <input type="checkbox"/> 自分で考えて家の役割を行う		
●社会性● <b>コミュニケーションの力</b>	【子育ての目標】 積極的に地域の活動に参加し、地域の仲間との関係で秩序を学ぶことにより、 <b>仲間と共に生きる力</b> を育みましょう					
	<input type="checkbox"/> 使った物は後片付けする <input type="checkbox"/> 友達を作って仲良く遊ぶ	<input type="checkbox"/> 公共のルールとマナーを守る <input type="checkbox"/> 友達と譲り合って仲良く遊ぶ	<input type="checkbox"/> 子供会や地域の活動に参加する <input type="checkbox"/> 仲間と助け合って行動する	<input type="checkbox"/> 地域の活動や行事で役割を果たす <input type="checkbox"/> 自分や仲間のよさを生かす言動をする		
●勤勉性● <b>学びに立ち向かう力</b>	【子育ての目標】 家庭学習の習慣を定着させ、発達段階に応じて自らの学習を調整する意識を高めることにより、 <b>学びに立ち向かう力</b> を育みましょう					
	<input type="checkbox"/> 学年×10分以上家庭学習する(1年10分、2年20分) <input type="checkbox"/> 宿題は必ずする <input type="checkbox"/> 国語と算数は必ずする	<input type="checkbox"/> 学年×10分+5分以上家庭学習する(3年35分、4年45分) <input type="checkbox"/> 自主学習にも取り組む <input type="checkbox"/> 国語と算数は必ずする	<input type="checkbox"/> 学年×10分+10分以上家庭学習する(5年60分、6年70分) <input type="checkbox"/> 苦手な教科にも力を入れる <input type="checkbox"/> 国語と算数は必ずする	<input type="checkbox"/> 平日2時間以上勉強する <input type="checkbox"/> 休日は平日より1時間以上多く勉強する <input type="checkbox"/> 数学と英語は必ずする	<input type="checkbox"/> 平日3時間以上勉強する <input type="checkbox"/> 休日は平日より1時間以上多く勉強する <input type="checkbox"/> 力を入れる教科を考える	

※ 花巻市教育委員会は、平成29年度に花巻市PTA連合会や花巻市教育振興協議会等の教育関連団体のご理解ご協力をいただき、家庭教育の土台を示す「花巻市家庭教育スタンダード」を作成しました。各中学校区では、平成30年度に「花巻市家庭教育スタンダード」の基本的な考え方やそれぞれの地区の実情を踏まえて「〇〇地区家庭教育スタンダード」「〇〇地区家庭生活・家庭学習の手引き」を作成し、子育て世帯に配布して学校、家庭、地域が一体となって子どもの健全育成に努めています。令和2年度以降も学習指導要領改定等に伴う語句や表現の一部を見直しつつ継続しますので、学校、家庭、地域が一体となって進める「**花巻市コミュニティ・スクール**」等の取組に活用願います。

## 子育て、教育の土台

乳幼児期からの**アタッチメント(愛着)**→**非認知能力(我慢・頑張り・コミュニケーションなど)**の育成は人間形成に大切!

学習で成果を上げている児童生徒は、各種児童生徒質問紙調査の基本的な生活習慣、人としての在り様、学習に対する姿勢等、大部分の質問項目で望ましい回答が多く、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「人とかかわる力」、いわゆる非認知スキルが高い傾向があります。

そこで、学校、家庭、地域はこれまで以上に子どもの生活・学習環境を意識して乳幼児期から発達段階に応じて非認知能力を育む手立てを講じていただくようご理解ご協力をお願いします。

### 【気になるデータ】 岩手県学習定着度状況調査児童生徒質問紙調査「携帯電話やスマートフォンの利用時間」

利用時間	小学校5年生								中学校2年生							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
3h以上	7	6	21	19	28	24	28	38	11	23	23	27	28	30	36	41
1h未満	78	77	36	40	31	36	33	13	54	25	26	21	18	27	17	5

# 令和8年度全国学調・県学調の予測値と期待値(目標値)の算定

## I 平均正答率を1年間の学力向上の取組の目標に設定するときの問題点とその解決の手立て

平均正答率を目標にして1年間の取組の効果を検証しようとする、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力の差などによって平均正答率が左右され、1年間の取組の効果が捉えにくくなります。また、学力調査は相対評価のNRTや絶対評価のCRTなど標準化作業を経た「標準学力検査」と全国学調、県学調、市販テスト、教師自作テストなどの標準化作業を経ない「非標準学力検査」に大別され、前者が得点率を用いて年度をまたぐ評価を可能にするのに対して、後者は調査問題の難易度が異なるために平均正答率の比較が意味をなさないこともあります。さらに、中学校数学、英語などは全国レベルと県レベルの調査母体の格差が大きく、全国学調と県学調など異なる調査間の比較を難しくすることもあります。つまり、**平均正答率を目標に1年間の取組の効果を検証するためには、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差などを踏まえて評価する必要があります。**

そこで花巻市では、「令和元年度花巻市学力向上アクションプラン」から児童生徒の意識調査結果を指標に掲げて1年間の取組の効果を検証することにしました。同時に、これまで積み上げてきた学力データと当該集団の直近の学力実績を基にして、**過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差など平均正答率に及ぼす影響を可能な限り補正し、1年間の学校・教職員の取組や児童生徒の頑張りを評価する手立てを模索し、1年間の学校・教職員の指導効果や児童生徒の成長を看取することができるようにしました。**令和2年度はコロナ禍で全国学調と県学調が中止になり令和3年度全国学調の予測値を算定して期待値(目標値)を設定することができませんでしたが、令和4年度以降は部分的に令和2年度の全国学調と県学調の中止の影響を受けつつも期待値(目標値)の設定が可能になっています。

## II 令和8年度小3～前7義務教育段階のCRT・県学調・全国学調の花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧【単位%】

R8年度学年	小3全国CRT	国語	算数	小4全国CRT	国語	算数	小5県学調	国語	社会	算数	理科	小6全国学調	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	新入生	国語	数学	中1全国CRT	国語	社会	数学	理科	英語IBA	中2県学調	国語	社会	数学	理科	英語	中3全国学調	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語		
小3	R8			R9			R10					R11									R12																				
小4	R7	+1	0	R8			R9					R10									R11																				
小5	R6	+3	+5	R7	+2	+1	R8					R9									R10																				
小6	R5	0	+1	R6	+3	+5	R7	-1	-	+1	-	R8									R9																				
中1	R4	-2	-2	R5	-2	-4	R6	-2	-	-3	-	R7	-2	-5	-3						R8																				
中2	R3	+1	+2	R4	+1	0	R5	-3	-	-3	-	R6	-2	-8	-						R7	-3	-3				R8	-2	-3	-3	-3	0									
中3	R2	+4	+5	R3	+3	0	R4	-1	-	-2	-	R5	-1	-4	-						R6	-3	-3				R7	-1	-5	-8	-7	-1									
高1	R1	+3	+3	R2	+4	+4	R3	0	-	+1	-	R4	0	-2	-2						R5	0	-1				R6	-1	-5	-5	-5	-1									
高2	H30	+5	+5	R1	+4	+5	R2	コロナ中止	-	コロナ中止	-	R3	-2	-4	-						R4	-3	-3				R5	-1	-3	-8	-6	-1									
高3	H29	+5	+5	H30	+2	+2	R1	-1	0	-1	0	R2	コロナ中止	-							R3	0	-2				R4	+1	-1	-3	+1	0									
前1	H28	-	-	H29	+3	+4	H30	0	+1	+1	0	R1	+4	0	-						R2	コロナ中止					R3	+2	0	-3	-2	-2									
前2	H27	-	-	H28	-	-	H29	-1	+1	+2	+1	H30	+3	+1	0	0	+1				R1	-1	0				R2	+2	+2	-2	-2	+2									
前3	H26	-	-	H27	-	-	H28	+1	0	0	+1	H29	+2	+1	+1	-1	-				H30	0	-2				H30	+1	0	-4	+1	-3									
前4	H25	-	-	H26	-	-	H27	+1	0	+2	+1	H28	0	+1	0	0	-				H29	0	+1				H30	+1	-1	-4	+3	-2									
前5	H24	-	-	H25	-	-	H26	+3	+3	+4	+4	H27	+5	+5	+3	-1	+5				H28	+1	0				H29	+1	+1	-1	+1	0									
前6	H23	-	-	H24	-	-	H25	+3	-	+6	+4	H26	+3	+4	+2	+4	-				H27	+1	0				H28	+1	+1	+2	0	-2									
前7	H22	-	-	H23	-	-	H24	+1	-	+4	+3	H25	+2	+3	+1	+1	-				H26	-	-				H27	0	-1	0	0	-3									

**【本資料のねらい】**  
 平成27・28年度頃から10年余り、いずれの学力調査においても全国・県の正答率と花巻市の正答率の差は年々拡大し続けてきました。しかし、令和6年度の多種多様な対策による効果が数字にも表れ始めています。この望ましい流れをより確かにしていくために、令和8年度1年間の教職員の頑張りがや児童生徒の成長を評価する手立ての一つとして、本資料を活用いただきたいと思います。教職員や児童生徒が目標をもって取り組むことは、教職員や児童生徒のモチベーションを高める有効な手段になると考えます。

### Ⅲ 令和8年度全国学調の予測値と期待値（目標値）の算定

#### 1 8年度小6全国学調

	国語	社会	算数	理科
ア 前7～中1・11個学年の小5県学調県差の平均実績値	+0.2	-	+1.2	+2.5
イ 前7～中1・11個学年の小6全国学調全国差の平均実績値	+1.3	-	-1.3	+3.0
ウ 全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值） イーア	+1.1	-	-2.5	+0.5
エ <b>小6の小5県学調県差の実績値</b>	<b>-1.0</b>	-	<b>+1.0</b>	-
オ <b>小6全国学調全国差の予測値</b> エ+ウ	<b>+0.1</b>	-	<b>-1.5</b>	-
カ <b>学力向上取組による加算</b>	+1.0	-	+1.0	-
キ <b>小6全国学調全国差の期待値（目標値）</b> オ+カ	<b>+1.1</b>	-	<b>-0.5</b>	-

#### 2 8年度中3全国学調

	国語	社会	数学	理科	英語
ア 前10～高1・11個学年の中2県学調県差の平均実績値（英語混）	+0.5	-	-0.9	+1.0	-1.0
イ 前10～高1・11個学年の中3全国学調全国差の平均実績値	+0.4	-	-4.4	-2.0	-8.5
ウ 全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值） イーア	-0.1	-	-3.5	-3.0	-7.5
エ <b>中3の中2県学調県差の実績値（英語IBA）</b>	-	-	<b>-1.0</b>	-	<b>0</b>
オ <b>中3全国学調全国差の予測値</b> エ+ウ	-	-	<b>-4.5</b>	-	<b>-7.5</b>
カ <b>学力向上取組による加算</b>	-	-	+1.5	-	+1.5
キ <b>中3全国学調全国差の期待値（目標値）</b> オ+カ	-	-	<b>-3.0</b>	-	<b>-6.0</b>

#### 3 全国学調の予測値と実績値から算定した小6・中3段階の1年間の成長 ※予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。

令和8年度の学年	小学校6年						令和8年度の学年	中学校3年								
	国語			算数				国語			数学			英語		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
<b>小6</b>	<b>+0.1</b>			<b>-1.5</b>			<b>中3</b>	-			<b>-4.5</b>			<b>-7.5</b>	-	
中1	-0.8	-1.8	-1.0	-5.4	-5.0	+0.4	高1	-	-0.3	-	-2.3	-5.3	-3.0	-8.5	-	-
中2	-2.6	-1.7	+0.9	-4.8	-8.4	-3.6	高2	-1.1	-2.1	-1.0	-8.4	-6.5	+1.9	-8.1	-	-
中3	+0.4	-1.2	-1.6	-4.1	-3.5	+0.6	高3	-1.2	-0.8	+0.4	-5.3	-7.0	-1.7	-4.4	-10.6	-6.6
高1	+1.2	+0.4	-0.8	-1.4	-2.2	-0.8	前1	+2.9	+2.0	-0.9	-5.5	-3.4	+2.1	-4.5	未実施	-
高2	算定不能	-1.7	-	算定不能	-4.2	-	前2	算定不能	+1.4	-	算定不能	-4.2	-	-5.5	未実施	-
高3	+0.5	データ無	-	-2.9	データ無	-	前3	+0.1	データ無	-	-3.7	データ無	-	-5.4	未実施	-
前1	+1.6	+4.2	+2.6	-1.5	+0.4	+1.9	前4	-0.6	+1.2	+1.8	-6.3	-5.6	+0.7	-6.3	-6.0	+0.3
前2	+1.4	+2.3	+0.9	+2.8	+0.5	-2.3	前5	+0.6	+1.9	+1.3	-5.3	-2.5	+2.8	-	未実施	-
前3	+2.1	+1.9	-0.2	-2.7	+0.3	+3.0	前6	+1.4	+1.7	+0.3	-2.0	-1.9	+0.1	-	未実施	-
前4	+0.9	+0.8	-0.1	-0.8	+0.1	+0.9	前7	-0.2	+0.6	+0.8	-3.9	-3.0	+0.9	-	未実施	-
前5	+4.3	+5.1	+0.8	+1.4	+0.9	-0.5	前8	-0.5	-2.9	-2.4	-5.0	-6.0	-1.0	-	未実施	-
前6	+4.3	+3.1	-1.2	+3.0	+2.9	-0.1	前9	+0.1	+0.1	0	-3.5	-3.9	-0.4	-	未実施	-
前7	+2.6	+2.5	-0.1	+1.5	+0.7	-0.8	前10	+1.3	+1.7	+0.4	-1.1	-3.7	-2.6	-	未実施	-

#### 【本資料の活用方法】

「Ⅲ・Ⅳ 1・2 エ」の**囲み数字**は花巻市のデータですが、ここに各学校のデータを入れ替え算定していただければ、母集団は異なるので正確さは欠けるものの、各学校の**予測値、期待値（目標値）**を求めることができます。

### Ⅳ 令和8年度県学調の予測値と期待値（目標値）の算定

#### 1 8年度小5県学調

	国語	社会	算数	理科
ア 前1～小6・7個学年の小4CRT全国差の平均実績値	+2.0	-	+1.6	-
イ 前1～小6・7個学年の小5県学調県差の平均実績値	-1.1	-	-0.9	-
ウ 県学調とCRTの平均実績値の差（補正值） イーア	-3.1	-	-2.5	-
エ <b>小5の小4CRT全国差の実績値</b>	<b>+1.7</b>	-	<b>+1.2</b>	-
オ <b>小5県学調県差の予測値</b> エ+ウ	<b>-1.4</b>	-	<b>-1.3</b>	-
カ <b>学力向上取組による加算</b>	+1.0	-	+1.0	-
キ <b>小5県学調県差の期待値</b> オ+カ	<b>-0.4</b>	-	<b>-0.3</b>	-

#### 2 8年度中2県学調期

	国語	社会	数学	理科	英語
ア 前4～中3・7個学年の中1CRT全国差の平均実績値（英語 CanDo, R6～IBA）	+0.4	-0.5	-5.0	+2.0	-1.4
イ 前4～中3・7個学年の中2県学調県差の実績値（英語 IBA, R6～県作成）	+0.2	-1.5	-1.9	-0.5	-1.0
ウ 県学調とCRTの平均実績値の差（補正值） イーア	-0.2	-1.0	+3.1	-2.5	+0.4
エ <b>中2の中1CRT全国差の実績値（英語 CanDo, R6～IBA）</b>	<b>-1.7</b>	<b>-2.6</b>	<b>-3.1</b>	<b>-3.1</b>	<b>-0.1</b>
オ <b>中2県学調県差の予測値（英語 IBA, R6～県作成）</b> エ+ウ	<b>-1.9</b>	<b>-3.6</b>	<b>0</b>	<b>-5.6</b>	<b>+0.3</b>
カ <b>学力向上取組による加算</b>	+1.0	+1.0	+1.5	+1.0	+1.5
キ <b>中2県学調県差の期待値（英語 IBA, R6～県作成）</b> オ+カ	<b>-0.9</b>	<b>-2.6</b>	<b>+1.5</b>	<b>-4.6</b>	<b>+1.8</b>

#### 3 県学調の予測値と実績値から算定した小5・中2段階の1年間の成長 ※予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。

令和7年度の学年	小学校5年						令和7年度の学年	中学校2年														
	国語			算数				国語			社会			数学			理科			英語 (IBA, R6～県作成)		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
<b>小5</b>	<b>-1.4</b>			<b>-1.3</b>			<b>中2</b>	<b>-0.9</b>	-	-	<b>-2.6</b>	-	-	<b>+1.5</b>			<b>-4.6</b>	-	-	<b>+0.3</b>		
<b>小6</b>	<b>+0.1</b>	<b>-0.3</b>	<b>-0.4</b>	<b>+2.4</b>	<b>+1.5</b>	<b>-0.9</b>	<b>中3</b>	<b>-1.9</b>	-	-	<b>-5.7</b>	-	-	<b>-5.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>+3.8</b>	<b>-9.6</b>	-	-	<b>-0.3</b>	<b>-0.7</b>	<b>-0.4</b>
中1	-5.5	-2.1	+3.4	-7.2	-2.5	+4.7	高1	-1.2	-	-	-5.2	-	-	-3.4	+0.7	+4.1	-6.2	-	-	-0.9	-0.5	+0.4
中2	-3.2	-3.4	-0.2	-3.5	-2.8	+0.7	高2	-1.3	-1.0	+0.3	-3.6	-	-	-6.2	-4.3	+1.9	-6.8	-	-	-1.1	-0.4	+0.7
中3	+0.3	-0.8	-1.1	-3.0	-1.8	+1.2	高3	+1.0	-0.6	-1.6	-1.7	-	-	-1.0	-2.1	-1.1	-0.1	-	-	+1.1	-0.7	-1.8
高1	+1.0	-0.5	-2.5	+1.5	+0.5	-1.0	前1	+1.4	+3.0	+1.6	-0.6	未実施	-	-1.6	-2.0	-0.4	-4.4	未実施	-	-1.0	-1.1	-0.1
高2	+1.1	データ無	-	+2.3	データ無	-	前2	+2.0	データ無	-	+1.5	データ無	-	-0.6	データ無	-	-4.4	データ無	-	+2.8	-1.0	-3.8
高3	-1.1	+1.1	+2.2	-0.9	-0.9	0	前3	+0.5	+0.4	-0.1	+0.4	-1.0	-1.4	-2.4	-1.2	+1.2	-2.5	+0.5	+3.0	-2.6	-1.0	+1.6
前1	-0.2	-0.2	0	+1.0	+1.0	0	前4	+0.2	+0.2	0	-1.4	-1.4	0	-2.8	-2.8	0	-0.9	-0.9	0	-1.7	-1.7	0

#### 注意 英語等に係る補足説明

令和5年度までの中2県学調英語は英検 IBA (県比)、中1CRT英語は Can Do (県比) を使って実施。令和6年度から中2県学調は国語の教科調査がなくなり、英語は英検 IBA から県作成問題に変更。中1CRT英語は Can Do から英検 IBA に変更。英検 IBA は「書くこと」等がないことに留意。

# 令和8年度花巻市学力向上アクションプランの指標項目と目標値

令和8年4月1日 花巻市教育委員会学校教育課

※ 「<成果指標2>令和8年度目標値設定資料（平成30年度策定、令和元設定、令和5・7年度改訂）です。県実績値の最高値を市目標値にしています。ただし、指標項目が改訂された場合はその県実績値を市目標値に変更します。【単位%】

学力向上策	指標項目（県学調 児童生徒質問紙 肯定回答）	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R8目標	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R8目標
学級・学年経営の充実	1 学校に行くのは楽しいと思いますか	小5	市県	90 88	83 85	87 87	88 87	81 85	84 85	87 86	86 85	88	中2	市県	88 88	86 86	87 86	81 84	85 85	84 86	90 86	89 88	88
	2 自分にはよいところがあると思いますか	小5	市県	78 78	69 76	73 74	76 73	68 73	71 72	77 76	78 75	78	中2	市県	71 74	70 71	72 72	71 71	74 72	76 76	82 80	77 79	80
	13 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小5	市県	78 80	75 79	78 80	80 80	80 81	81 81	84 83	85 84	84	中2	市県	82 82	79 82	83 83	80 82	83 84	86 86	90 87	88 89	89
	17 R1～学級は、お互いに助け合ったりお互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか	小5	市県		77 83	82 86	89 89	83 87	改訂 73	76 73	78 73	74	中2	市県		85 84	88 87	86 88	89 88	改訂 73	80 76	79 76	76
	18 R5～授業や学級活動の話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小5	市県		81 83	84 86	87 86	84 85	86 85	84 85	87 85	86	中2	市県		86 86	88 88	87 88	88 88	88 88	87 88	89 88	88
20 21 R1～学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか	小5	市県		81 83	84 86	87 86	84 85	86 85	84 85	87 85	86	中2	市県		86 86	88 88	87 88	88 88	88 88	87 88	89 88	88	
学習者主体の授業改善	24 R1～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか	小5	市県		82 83	81 82	82 82	84 82	81 80	82 81	改訂 84	改訂 83	中2	市県		84 87	86 87	83 85	86 87	85 86	86 85	改訂 86	改訂 85
	25 R7～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか	小5	市県		82 83	81 82	82 82	84 82	81 80	82 81	改訂 84	改訂 83	中2	市県		84 87	86 87	83 85	86 87	85 86	86 85	改訂 86	改訂 85
	18 R1～授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	小5	市県		79 82	80 82	86 83	84 82	76 78	78 78	80 79	83	中2	市県		73 78	84 83	83 82	82 82	80 80	83 80	81 80	83
	19 R1～授業中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか	小5	市県		90 91	90 90	92 90	88 88	84 87	87 87	改訂 85	改訂 82	中2	市県		83 86	87 88	88 88	87 87	86 86	88 87	改訂 78	改訂 77
21 22 R1～先生は、あなたが授業やテストでわからなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	小5	市県		86 91	91 92	93 93	92 92	90 90	91 89	92 90	93	中2	市県		84 86	91 90	88 91	91 91	89 90	89 89	91 89	91	
家庭学習の抜本的改善	4 学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか（小5・6年→1時間以上、中→2時間以上、勉強している）	小5	市県	74 71	71 69	73 73	76 69	69 67	57 63	62 62	61 61	73	中2	市県	20 22	18 21	20 25	16 20	19 20	17 18	19 17	12 15	25
	5 R7～家で、自分で計画を立てて勉強していますか	小5	市県	67 66	67 68	70 70	72 69	69 69	63 66	66 65	改訂 60	改訂 56	中2	市県	45 47	49 51	52 54	53 52	52 52	50 50	58 49	改訂 42	改訂 48
	23 24 R1～学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか	小5	市県		61 65	61 67	68 67	64 68	64 65	64 65	改訂 83	改訂 82	中2	市県		51 53	58 59	57 58	61 60	59 58	63 59	改訂 86	改訂 85

【重点】 児童生徒質問紙調査については、令和5年度まで小学校を中心に年々課題が顕在化していましたが、令和6年度は改善傾向に転じました。令和7年度は令和6年度の改善傾向が維持されているのか注視していましたが、中2で令和6年度に比べて望ましい回答傾向が減少したものの、ここに掲げる12の指標項目に限れば、小学校は11項目（92%）、中学校は7項目（58%）で肯定的回答が県を上回り、力を入れてきた小学校を中心に「花巻市学力向上アクションプラン」の取組の効果が表れています。「学級・学年経営の充実」に関わっては、令和6年度は小5・中2ともに県を下回り課題だった「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」の肯定的回答は、小5・中2ともに県を上回り改善されました。心理的安全性の高い教室の雰囲気は、望ましい方向です。「学習者主体の授業改善」に関わっては、小5・中2ともに県との比較では望ましい傾向ですが、中2「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか」は唯一県を下回り課題です。「協働的な学び」を活性化の手立てが必要ですが、「家庭学習の抜本的改善」に関わっては、中2「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」は県を大きく下回り課題です。効果的な家庭学習の進め方やメディアとの関わり方を含めた家庭学習時間の確保など、改めて家庭と連携して対策を講じる必要があります。

R7年度学年	小3全国CRT	国語	算数	小4全国CRT	国語	算数	小5県学調	国語	社会	算数	理科	小6全国学調	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	新入生	国語	数学	中1全国CRT	国語	社会	数学	理科	英語IBA	中2県学調	国語	社会	数学	理科	英語	中3全国学調	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語									
小3	R7	+1	+1	R8			R9					R10						R11			R11						R12																					
		低下																																														
小4	R6	+3	+5	R7	+3	+2	R8					R9						R10			R10						R11																					
		改善			やや低下																																											
小5	R5	0	+1	R6	+3	+5	R7	-1	-	+1	-	R8						R9			R9						R10																					
		課題			改善			4年ぶりに県と同程度																																								
小6	R4	-2	-2	R5	-2	-4	R6	-2	-	-3	-	R7	-2	-5	-3			R8			R8						R9																					
		最低危機			過去最低			過去最低予測覆し改善					算数R6より改善																																			
中1	R3	+1	+2	R4	+1	0	R5	0	-	-3	-	R6	-2	-8	-			R7	-2	-3	R7	-2	-3	-3	-3	0	R8																					
		課題			過去最低			過去最低大きく更新					過去最低大きく更新										数学中心に社会理科英語善戦																									
中2	R2	+4	+5	R3	+4	0	R4	-1	-	-2	-	R5	-1	-4	-			R6	-3	-3	R6	-1	-5	-8	-7	-1	R7	-	-	-1	-	0																
		課題			過去最低			過去最低危機的					算数過去最低危機的										理科過去最低更新危機的						昨年度に続き概ね県と同程度																			
中3	R1	+3	+3	R2	+4	+4	R3	0	-	+1	-	R4	0	-2	-2			R5	0	-1	R5	-1	-5	-5	-5	-1	R6	-	-	+1	-	-1	R7	0	-5	-1	-											
		改善			改善			前々学年より国算改善					前学年より改善も課題大										社会過去最低全体的に課題						数学8年ぶりに県上回り改善						国語・数学R5・R6より改善													
高1	H30	+5	+5	R1	+4	+5	R2	コロナ中止	コロナ中止			R3	0	-4	-			R4	-3	-3	R4	-1	-3	-8	-6	-1	R5	-1	-	-5	-	-1	R6	-2	-7	-	-											
		改善			改善			過去最低危機的					過去最低危機的										数学・理科過去最低危機的						数学過去最低大きく更新						国数昨年度同様大きな課題													
高2	H29	+5	+5	H30	+2	+2	R1	-1	0	-1	0	R2	コロナ中止					R3	0	-2	R3	+1	-1	-3	+1	0	R4	-1	-	-2	-	0	R5	-1	-7	-	-1											
		課題			課題			学力・意識とも過去低下															小学校前学年より改善						前学年より数学改善						数英過去最低で大きな課題													
高3	H28	-	-	H29	+3	+4	H30	0	+1	+1	0	R1	+4	0	-			R2	コロナ中止		R2	+2	0	-3	-2	-2	R3	+3	-	-2	-	-2	R4	+2	-3	-2	-											
					前学年より国語改善数低下			前学年並みに安定															前学年より再び低下						前々学年より国語改善数英低下						前学年より国数改善													
前1	H27	-	-	H28	-	-	H29	-1	+1	+2	+1	H30	+3	+1	0	0	+1	R1	-1	0	R1	+2	+2	-2	-2	+2	R2	コロナ中止	-	コロナ中止	-	0	R3	+1	-4	-	-											
					前学年より国語低下算数改善			前学年並みに安定															前学年までより大きく改善						前々学年より数学改善																			
前2	H26	-	-	H27	-	-	H28	+1	0	0	+1	H29	+2	+1	+1	-1	-	H30	0	-2	H30	+1	0	-4	+1	-3	R1	0	-1	-1	0	-1	R2	0	-1	-1	0	-1										
					前学年よりさらに算数低下			前年度・前学年より改善															数学・英語大きな課題						前年度・前学年より大きく改善																			
前3	H25	-	-	H26	-	-	H27	+1	0	+2	+1	H28	0	+1	0	0		H29	0	+1	H29	+1	-1	-4	+3	-2	H30	0	-2	-3	-1	-2	R1	+1	-6	-	-6											
					前学年までより大きく低下			前学年までより大きく低下															数学・英語大きな課題						前年度までより大きく低下						27中3に類似大きな課題													
前4	H24	-	-	H25	-	-	H26	+3	+3	+4	+4	H27	+5	+5	+3	-1	+5	H28	+1	0	H28	-	-	-	-	-	H29	+1	+1	-1	+1	0	H30	+1	+3	-3	-2	0	-									
前5	H23	-	-	H24	-	-	H25	+3	-	+6	+4	H26	+3	+4	+2	+4	-	H27	+1	0	H27	-	-	-	-	-	H28	+1	+1	+2	0	-2	H29	+3	+1	-3	-1	-	-									
前6	H22	-	-	H23	-	-	H24	+1	-	+4	+3	H25	+2	+3	+1	+1	-	H26	-	-	H26	-	-	-	-	-	H27	0	-1	0	0	-3	H28	+1	+1	-3	-3	-	-									
前7	H21	-	-	H22	-	-	H23	+1	-	+1		H24	抽	出	校	集	計	H25	-	-	H25	-	-	-	-	-	H26	0	-1	-2	+1	-2	H27	-2	-4	-6	-6	-4	-									
前8	H20	-	-	H21	-	-	H22	0	-	+3	-	H23	震	災	未	実	施	H24	-	-	H24	-	-	-	-	-	H25	+1	+2	0	+1	-2	H26	0	0	-4	-4	-	-									
前9	H19	-	-	H20	-	-	H21	+1	-	+2	-	H22	抽	出	校	集	計	H23	-	-	H23	-	-	-	-	-	H24	+2	+1	+2	+2	0	H25	+2	+1	-3	-4	-	-									

【小学校】 H27・28頃から県・全国と比較して原因不明の第1波学力低下（破線）、R1・2中学年対策で一時改善（破線）、R3頃からゲーム、スマートフォンの普及等が原因と推測される第2波が重なり深刻な状況（実線）、R6対策で大きく改善（実線）、R7CRTは再びやや心配

【中学校】 H30まで全国と比較して数学・英語の学力が県共通課題にH29頃原因不明の第1波学力低下（破線）、R1～4数英Gアップシート、中1講話等の取組でやや改善（破線）、R4頃から小学校第1・2波に中学校段階のゲーム、スマートフォンの普及等が原因と推測される影響で深刻な状況（実線）、R6対策でやや改善（実線）

# 令和7年度全国学調・県学調の予測値と実績値から算定した1年間の成長

令和8年3月31日 花巻市教育委員会学校教育課

## I 平均正答率を1年間の学力向上の取組の目標に設定するときの問題点と解決の手立て

平均正答率を目標にして1年間の取組の効果を検証しようとする、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力の差などによって平均正答率が左右され、1年間の取組の効果が捉えにくくなります。また、学力調査は相対評価のNRTや絶対評価のCRTなど標準化作業を経た「標準学力検査」と全国学調、県学調、市販テスト、教師自作テストなどの標準化作業を経ない「非標準学力検査」に大別され、前者が得点率を用いて年度をまたぐ評価を可能にするのに対して、後者は調査問題の難易度が異なるために平均正答率の比較が意味をなさないこともあります。さらに、中学校数学、英語などは全国レベルと県レベルの調査母体の格差が大きく、全国学調と県学調など異なる調査間の比較を難しくすることもあります。つまり、**平均正答率を目標に1年間の取組の効果を検証するためには、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差などを踏まえて評価する必要があります。**

そこで花巻市では、「令和元年度花巻市学力向上アクションプラン」から児童生徒の意識調査結果を指標に掲げて1年間の取組の効果を検証することにしました。同時に、これまで積み上げてきた学力データと当該集団の直近の学力実績を基にして、**過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差など平均正答率に及ぼす影響を可能な限り補正し、1年間の学校・教職員の取組や児童生徒の頑張りを評価する手立てを模索し、1年間の学校・教職員の指導効果や児童生徒の成長を看取することができるようにしました。**令和2年度はコロナ禍で全国学調と県学調が中止になり令和3年度全国学調の予測値を算定して期待値（目標値）を設定することができず、令和4年度以降は部分的に令和2年度の全国学調と県学調の中止の影響を受けつつも期待値（目標値）の設定が可能になっています。

## II 令和7年度小4～前9義務教育段階のCRT・県学調・全国学調の花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧【単位ポイント】

R7年度学年	小3全国CRT	国語	算数	小4全国CRT	国語	算数	小5県学調	国語	社会	算数	理科	小6全国学調	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	新入生	国語	数学	中1全国CRT	国語	社会	数学	理科	英語IBA	中2県学調	国語	社会	数学	理科	英語	中3全国学調	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語					
小3	R7	+1	0	R8			R9					R10						R11			D11						D12							D12										
		低下																																										
小4	R6	+3	+5	R7	+2	+1	R8		-			R9																																
		改善			低下																																							
小5	R5	0	+1	R6	+3	+5	R7					R8																																
		課題			改善																																							
小6	R4	-2	-2	R5	-2	-4	R6					R7																																
		最低危機			過去最低																																							
中1	R3	+1	+2	R4	+1	0	R5					R6																																
		課題			過去最低																																							
中2	R2	+4	+5	R3	+3	0	R4					R5																																
					課題																																							
中3	R1	+3	+3	R2	+4	+4	R3					R4																																
					改善																																							
高1	H30	+5	+5	R1	+4	+5	R2					R3																																
					改善																																							
高2	H29	+5	+5	H30	+2	+2	R1					R2																																
					課題																																							
高3	H28	-	-	H29	+3	+4	H30					R1																																
前1	H27	-	-	H28	-	-	H29					H30																																
前2	H26	-	-	H27	-	-	H28					H29																																
前3	H25	-	-	H26	-	-	H27					H28																																
前4	H24	-	-	H25	-	-	H26					H27																																
前5	H23	-	-	H24	-	-	H25					H26																																
前6	H22	-	-	H23	-	-	H24					H25																																
前7	H21	-	-	H22	-	-	H23					H24																																
前8	H20	-	-	H21	-	-	H22					H23																																
前9	H19	-	-	H20	-	-	H21					H22																																

**【本資料の要点】** 令和7年度全国学調全国比予測値は小6国語-0.8、算数-5.4、中3数学-2.3で、実績値は小6国語-1.8、算数-5.0、中3数学-5.3でした。1年間の成長値は小6国語-1.0、算数+0.4、中3数学-3.0、小6算数はプラス成長、小6国語と中3数学はマイナス成長でした。令和7年度県学調県比予測値は小5国語+0.1、算数+2.4、中2数学-5.4、英語-0.3で、実績値は小5国語-0.3、算数+1.5、中2数学-1.6、英語-0.7でした。1年間の成長値は小5国語-0.4、算数-0.9、中2数学+3.8、英語-0.4、中2数学でプラス成長、小5国語・算数、中2英語でマイナス成長でした。

### Ⅲ 令和7年度全国学調の予測値と期待値（目標値）の算定

1 6年度小6全国学調					2 6年度中3全国学調							
	国語	社会	算数	理科		国語	社会	数学	理科	英語		
ア	前5～中1・9個学年の小5県学調県差の平均実績値	+0.7	+1.0	+1.9	+2.0	ア	前8～高1・9個学年の中2県学調県差の平均実績値（英語混）	+0.7	0	-0.7	-0.6	-1.4
イ	前5～中1・9個学年の小6全国学調全国差の平均実績値	+1.1	-	+0.1	+1.3	イ	前8～高1・9個学年の中3全国学調全国差の平均実績値	+0.6	-	-4.1	-2.0	-8.5
ウ	全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值）	イ-ア	-	-1.8	-0.7	ウ	全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值）	イ-ア	-	-3.4	-2.6	-7.1
エ	小6の小5県学調県差の実績値	-3.0	-	-3.0	-	エ	中3の中2県学調県差の実績値（英語IBA）	-1.0	-	-5.0	-	-1.0
オ	小6全国学調全国差の予測値	-2.6	-	-4.8	-	オ	中3全国学調全国差の予測値	-1.1	-	-8.4	-	-8.1
カ	学力向上取組による加算	+1.0	-	+1.0	-	カ	学力向上取組による加算	+1.0	-	+1.5	-	+1.5
キ	小6全国学調全国差の期待値（目標値）	+1.6	-	-3.8	-	キ	中3全国学調全国差の期待値（目標値）	-0.1	-	-6.9	-	-6.6

3 全国学調の予測値と実績値から算定した小6・中3段階の1年間の成長 ※予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。

令和7年度の学年	小学校6年						令和7年度の学年	中学校3年								
	国語			算数				国語			数学			英語		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小6	-0.8	-1.8	-1.0	-5.4	-5.0	+0.4	中3	-	-0.3	-	-2.3	-5.3	-3.0	-8.5	-	-
中1	-2.6	-1.7	+0.9	-4.8	-8.4	-3.6	高1	-1.1	-2.1	-1.0	-8.4	-6.5	+1.9	-8.1	-	-
中2	+0.4	-1.2	-1.6	-4.1	-3.5	+0.6	高2	-1.2	-0.8	+0.4	-5.3	-7.0	-1.7	-4.4	-10.6	-6.6
中3	+1.2	+0.4	-0.8	-1.4	-2.2	-0.8	高3	+2.9	+2.0	-0.9	-5.5	-3.4	+2.1	-4.5	未実施	-
高1	算定不能	-1.7	-	算定不能	-4.2	-	前1	算定不能	+1.4	-	算定不能	-4.2	-	-5.5	未実施	-
高2	+0.5	データ無	-	-2.9	データ無	-	前2	+0.1	データ無	-	-3.7	データ無	-	-5.4	未実施	-
高3	+1.6	+4.2	+2.6	-1.5	+0.4	+1.9	前3	-0.6	+1.2	+1.8	-6.3	-5.6	+0.7	-6.3	-6.0	+0.3
前1	+1.4	+2.3	+0.9	+2.8	+0.5	-2.3	前4	+0.6	+1.9	+1.3	-5.3	-2.5	+2.8	-	未実施	-
前2	+2.1	+1.9	-0.2	-2.7	+0.3	+3.0	前5	+1.4	+1.7	+0.3	-2.0	-1.9	+0.1	-	未実施	-
前3	+0.9	+0.8	-0.1	-0.8	+0.1	+0.9	前6	-0.2	+0.6	+0.8	-3.9	-3.0	+0.9	-	未実施	-
前4	+4.3	+5.1	+0.8	+1.4	+0.9	-0.5	前7	-0.5	-2.9	-2.4	-5.0	-6.0	-1.0	-	未実施	-
前5	+4.3	+3.1	-1.2	+3.0	+2.9	-0.1	前8	+0.1	+0.1	0	-3.5	-3.9	-0.4	-	未実施	-
前6	+2.6	+2.5	-0.1	+1.5	+0.7	-0.8	前8	+1.3	+1.7	+0.4	-1.1	-3.7	-2.6	-	未実施	-

**【本資料の活用方法】** ここ10年余り、花巻市の全国学調や県学調の正答率は下がり続けています。教職員や児童生徒が1年間頑張っても、正答率が下がり続ける流れの中、教職員や児童生徒は成果を実感できずモチベーションは低下する一方です。そこで、本資料を活用して1年間の成長の度合いを評価し、教職員や児童生徒のやりがいや意欲を前向きに評価してみたいかがでしょうか。

「Ⅲ 2 エ」の**囲み数字**は花巻市のデータですが、ここに各学校のデータを入れ替え算定していただければ、各学校の予測値、期待値（目標値）、1年間の成長を求めることができます。

### Ⅳ 令和7年度県学調の予測値と期待値（目標値）の算定

※小4、中1のCRT実施は4年間分とデータが少なく、「予測値」と「実績値」の誤差は大きくなることが予測されます。

1 6年度小5県学調					2 6年度中2県学調							
	国語	社会	算数	理科		国語	社会	数学	理科	英語		
ア	高2～小6・5個学年の小4CRT全国差の平均実績値	+2.6	-	+2.0	-	ア	前2～中3・5個学年の中1CRT全国差の平均実績値（英語CanDo）	+0.8	-1.0	-4.4	+0.7	-1.6
イ	高2～小6・5個学年の小5県学調県差の平均実績値	-1.0	+0.5	-0.8	0	イ	前2～中3・5個学年の中2県学調県差の実績値（英語IBA）	+0.2	-1.5	-2.6	-0.5	-1.2
ウ	県学調とCRTの平均実績値の差（補正值）	イ-ア	-	-2.8	-	ウ	県学調とCRTの平均実績値の差（補正值）	イ-ア	-	+1.8	-1.2	+0.2
エ	小5の小4CRT全国差の実績値	-1.9	-	-4.4	-	エ	中2の中1CRT全国差の実績値（英語CanDo）	-0.6	-4.7	-5.2	-5.0	-1.1
オ	小5県学調県差の予測値	-5.5	-	-7.2	-	オ	中2県学調県差の予測値（英語IBA）	-1.2	-5.2	-3.4	-6.2	-0.9
カ	学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）	+1.0	-	+1.0	-	カ	学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）	+1.0	+1.0	+1.5	+1.0	+1.5
キ	小5県学調県差の期待値	-4.5	-	-6.2	-	キ	中2県学調県差の期待値（英語IBA）	-0.2	-4.2	-1.9	-5.2	+0.6x

3 県学調の予測値と実績値から算定した小5・中2段階の1年間の成長 ※ 予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。

令和7年度の学年	小学校5年						令和7年度の学年	中学校2年														
	国語			算数				国語			社会			数学			理科			英語 IBA		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小5	+0.1	-0.3	-0.4	+2.4	+1.5	-0.9	中2	-1.9	-	-	-5.7	-	-	-5.4	-1.6	+3.8	-9.6	-	-	-0.3	-0.7	-0.4
小6	-5.5	-2.1	+3.4	-7.2	-2.5	+4.7	中3	-1.2	-	-	-5.2	-	-	-3.4	+0.7	+4.1	-6.2	-	-	-0.9	-0.5	+0.4
中1	-3.2	-3.4	-0.2	-3.5	-2.8	+0.7	高1	-1.3	-1.0	+0.3	-3.6	-	-	-6.2	-4.3	+1.9	-6.8	-	-	-1.1	-0.4	+0.7
中2	+0.3	-0.8	-1.1	-3.0	-1.8	+1.2	高2	+1.0	-0.6	-1.6	-1.7	-	-	-1.0	-2.1	-1.1	-0.1	-	-	+1.1	-0.7	-1.8
中3	+1.0	-0.5	-2.5	+1.5	+0.5	-1.0	高3	+1.4	+3.0	+1.6	-0.6	未実施	-	-1.6	-2.0	-0.4	-4.4	未実施	-	-1.0	-1.1	-0.1
高1	+1.1	データ無	-	+2.3	データ無	-	前1	+2.0	データ無	-	+1.5	データ無	-	-0.6	データ無	-	-4.4	データ無	-	+2.8	-1.0	-3.8
高2	-1.1	+1.1	+2.2	-0.9	-0.9	0	前2	+0.5	+0.4	-0.1	+0.4	-1.0	-1.4	-2.4	-1.2	+1.2	-2.5	+0.5	+3.0	-2.6	-1.0	+1.6
高3	-0.2	-0.2	0	+1.0	+1.0	0	前3	+0.2	+0.2	0	-1.4	-1.4	0	-2.8	-2.8	0	-0.9	-0.9	0	-1.7	-1.7	0

**注 英語に係る補足説明**  
R5までは英語の中1CRTはCan Do(県比)、中2県学調は英検 IBA(県比)。R6からは中1県学調は英検 IBA(県比)、中2県学調は県作成問題。なお、英検 IBAは「書くこと」等がないので、Can Doの出題領域とは異なる。

「令和7年度花巻市学力向上アクションプラン」の指標項目の検証

令和8年3月31日 花巻市教育委員会学校教育課

※ 「<成果指標2>花巻市学力向上策の要点」に係る令和8年度目標値設定資料（平成30年度策定、令和元年度部分改定）です。令和元年度から3年度までの3カ年で、岩手県実績値の最高値を花巻市令和4年度以降の目標値に設定しています。ただし、岩手県令和5年度以降の実績値が花巻市の目標値を上回った場合は、花巻市の目標値を令和5年度以降の岩手県実績値に更新しています。【単位%】

学力向上策	指標項目（県学調 児童生徒質問紙 肯定回答）	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R8目標	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R8目標	
学級・学年経営の充実	1	学校に行くのは楽しいと思いますか	小5	市県	90 88	83 85	87 87	88 87	81 85	84 85	87 86	86 85	87	中2	市県	88 88	86 86	87 86	81 84	85 85	84 86	90 86	89 88	86
	2	自分にはよいところがあると思いますか	小5	市県	78 78	69 76	73 74	76 73	68 73	71 72	77 76	77 79	78	中2	市県	71 74	70 71	72 72	71 71	74 72	76 76	82 80	82 80	71
	13 14	先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小5	市県	78 80	75 79	78 80	80 80	80 81	81 81	84 83	85 84	81	中2	市県	82 82	79 82	83 83	80 82	83 84	86 86	90 87	88 89	更新 87
	17 18	R1～R4学級は、お互いに助け合ったりお互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか R5～新規授業や学級活動の話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小5	市県		77 83	82 86	89 89	83 87	新規 73 73	76 74	78 73	更新 74	中2	市県		85 84	88 87	86 88	89 88	新規 73 76	80 76	79 76	76
	20 21	R1～学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか	小5	市県		81 83	84 86	87 86	84 85	86 85	84 85	87 85	86	中2	市県		86 86	88 88	87 88	88 88	88 88	87 88	89 88	88
学習者主体の授業改善	24 25	R1～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか	小5	市県		82 83	81 82	82 82	84 82	81 80	82 81	82 81	83	中2	市県		84 87	86 87	83 85	86 87	85 86	86 85	86 89	87
	18 19	R1～授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	小5	市県		79 82	80 82	86 83	84 82	76 78	78 78	80 79	83	中2	市県		73 78	84 83	83 82	82 80	80 80	83 80	81 80	83
	19 20	R1～授業中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか	小5	市県		90 91	90 90	92 90	88 88	84 87	87 87	85 82	91	中2	市県		83 86	87 88	88 88	87 87	86 86	88 87	78 77	88
	21 22	R1～先生は、あなたが授業やテストでわからなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいませんか	小5	市県		86 91	91 92	93 93	92 92	90 90	91 89	92 90	93	中2	市県		84 86	91 90	88 91	91 91	89 90	89 89	91 89	91
家庭学習の抜本的改善	4	学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか（小5・6年→1時間以上、中→2時間以上、勉強している）	小5	市県	74 71	71 69	73 73	76 69	69 67	57 63	62 62	60 61	73	中2	市県	20 22	18 21	20 25	16 20	19 20	17 18	19 17	12 15	25
	5	家で、自分で計画を立てて勉強していますか R7～改訂学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか	小5	市県	67 66	67 68	70 70	72 69	69 69	63 66	66 65	改訂 59 59	改訂 59	中2	市県	45 47	49 51	52 54	53 52	52 52	50 50	58 49	改訂 42 48	改訂 48
	22 23	R1～学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか R7～改訂授業でわからなかったところや理解していないところについて、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりして、解決していますか	小5	市県		61 65	61 67	68 67	64 68	64 65	64 65	改訂 83 82	改訂 82	中2	市県		51 53	58 59	57 58	61 60	59 58	63 59	改訂 86 85	改訂 85

【重点】 児童生徒質問紙調査については、令和5年度まで小学校を中心に年々課題が顕在化していましたが、令和6年度は改善傾向に転じました。令和7年度は令和6年度の改善傾向が維持されているのか注視していましたが、令和6年度に比べると望ましい回答傾向が減少したものの、ここに掲げる12の指標項目に限れば、小学校は9項目（75%）、中学校は8項目（67%）で肯定的回答が県を上回り、「花巻市学力向上アクションプラン」の取組の効果が表れています。「学級・学年経営の充実」に関わっては、令和6年度は小5・中2ともに県を下回り課題だった「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」の肯定的回答は、小5・中2ともに県を上回り改善されました。心理的安全性の高い教室の雰囲気は、望ましい方向です。「学習者主体の授業改善」に関わっては、小5・中2ともに県との比較では望ましい傾向ですが、中2「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか」は唯一県を下回り課題です。「協働的な学び」を活性化させる手立てが必要です。「家庭学習の抜本的改善」に関わっては、中2「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」は県を大きく下回り課題です。効果的な家庭学習の進め方やメディアとの関わり方を含めた家庭学習時間の確保など、改めて家庭と連携して対策を講じる必要があります。